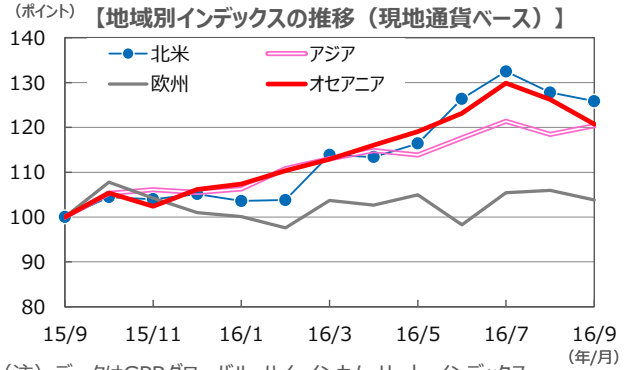


今日のトピック アジア・オセアニアのリート市場の最近の動向 (2016年9月) 高い利回りに支えられ底堅い推移へ

ポイント1 グローバル市場は下落 米国の利上げ観測が背景

- 9月のグローバル・リート市場は、現地通貨ベースで1.6%の下落となりました。北米、欧州、オセアニアなど下落した地域が目立ちました。FRB（米連邦準備制度理事会）は9月の利上げを見送りましたが、年内の利上げ観測が根強く、利上げを警戒して下落したリート市場の戻りは鈍いものとなりました。
- アジア・オセアニア地域を現地通貨ベースで見ると、月間でオセアニアが4.3%の下落、アジアが1.6%の上昇となりました。



(注) データはGPRグローバル・ハイ・インカム・リート・インデックス（現地通貨ベース）。期間は2015年9月末～2016年9月末。2015年9月末を100として指数化。

(出所) GPR社のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 円ベースも下落 円高がマイナス寄与

- 9月のグローバル・リート市場は、円ベースで3.1%の下落となりました。現地通貨ベースと比べて下落幅が広がったのは、為替市場で、FRBの利上げが緩やかなペースとなるとの見方が強まったことでドルが弱含むなか、各国通貨に対し円高となったためです。
- アジア・オセアニア地域を円ベースで見ると、月間でオセアニアが4.6%の下落、アジアが0.8%の上昇となりました。オセアニア（豪州）は、長期金利の上昇が重しとなり下落しました。アジアは、円高の影響で香港が下落、シンガポールがほぼ横ばいでした。

【各国・地域の騰落率（9月）（円ベース）】

国・地域	月間騰落率	国・地域	月間騰落率
グローバル	▲3.1%	オセアニア	▲4.6%
北米	▲3.6%	豪州	▲4.6%
米国	▲3.7%	アジア	+0.8%
カナダ	▲3.0%	シンガポール	▲0.1%
欧州	▲3.9%	日本	+1.7%
オランダ	+3.6%	香港	▲1.0%
フランス	▲3.2%		
英国	▲5.3%		

(注) データはGPRグローバル・ハイ・インカム・リート・インデックス（円ベース）。

(出所) GPR社のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 アジア・オセアニアの高い配当利回りが相場の支えに

- 米国では年内の追加利上げ観測が強いものの、その後の利上げはゆっくりとしたものになると予想されます。アジアや欧州では依然金融緩和政策が継続しています。低金利環境のもと、利回りを求める動きは根強く、リートに対する需要は底堅いと考えられます。とりわけアジア・オセアニアのリートは、配当利回りが高いことがサポート要因となることに加え、高い経済成長を背景に、業績拡大と増配が見込まれるため、徐々に持ち直すことを期待されます。

ここもチェック! 2016年10月11日 引き続き堅調な米国の雇用統計 (2016年9月)
2016年10月 4日 豪州の金融政策は前回に続き据え置き (2016年10月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。